

# 大分市 文化財だより

2012年度号

## 貴重な歴史遺産・大友氏遺跡



大友宗麟の魅力や  
南蛮文化を全国に情報発信

今から400～450年前の戦国時代の大分は、海外との交流によって新しい技術や学問、芸術等の文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな都市となりました。

大分市では、こうした繁栄を今に伝える大友氏遺跡を史跡公園として整備し、新たな魅力とシンボルとして全国に向けて積極的に情報発信を行っていきます。

今回の文化財だよりでは、市民の皆さんに現在進めている大友宗麟や大友氏遺跡に関する取り組みについて紹介します。

# 新たな都市のシンボル 大友氏遺跡



## 大友氏遺跡歴史公園を

### 歴史観光拠点に！

大友氏の残した歴史遺産を後世に伝えるために、大友氏遺跡の発掘調査を行うとともに、史跡地を公有化し、歴史公園として整備していきます。

平成十年、大分市顕徳町で大友氏の館（屋敷）の一角と見られる遺跡が発見されました。詳細な発掘調査によって、巨大な庭園や建物跡が見つかり、戦国時代としては全国でも屈指の規模の館跡であることが分かりました。館跡の広さは、一辺二百メートル四方の広さがあります。

館跡からは、茶道具や海外から輸入されたさまざまな陶磁器など当時の生活をしのばせるものが見つかりました。また、「かわらけ」と呼ばれる武家儀礼や儀式、宴会などに使用された器も大量に見つかっています。

大分市では、国指定史跡となった大友氏遺跡を保護・保存し、大友氏の残した歴史遺産を後世に伝えるため、史跡地を購入しています。

将来、大友氏遺跡は、「大友氏遺跡歴史公園」として市民の歴史学習や憩いの場となり、観光客の訪れる歴史文化観光拠点となるよう公園整備をしていく予定です。

## 大友宗麟を全国に情報発信！

かつて我が国屈指の国際貿易都市であった大分の歴史遺産を掘り起こし、大友宗麟の魅力を全国に情報発信します。

大友氏遺跡のこれまでの調査成果、大友氏や南蛮文化の歴史を大分市元町にある「大友氏遺跡体験学習館」で知ることができます。館内では、大友氏遺跡から発掘された様々な出土品やCGを使った復元イメージ図、映像による大友氏遺跡の紹介を行っており、市内だけでなく県内外の方々が戦国時代の大友氏遺跡の魅力を学べる学習施設になっています。

また、大友氏遺跡を多くの方々にも広く知ってもらうために、大分生活文化展の期間中、「大友氏遺跡フェスタ」を毎年開催し、大友氏のPRや遺跡の見学会、調査の成果を発表するフォーラムなどを実施しています（詳細は裏面）。さらに、郷土大分の新たなシンボルのひとつである大友宗麟とこれに関連する歴史遺産をクローズアップし、全国に誇れる歴史や文化の魅力を県内外に広く情報発信するため、今年から来年度にかけて、「市民南蛮シンポジウム」を開催します。今年の十月から十二月には、上智大学と

連携し、五回にわたる公開講座を上智大学中央図書館等（東京）で開催します。来年は、大分駅南に新しく完成するホルトホール大分でシンポジウムを開催する予定です。

## 大友宗麟の魅力や 南蛮文化を学ぶ！

戦国時代に大友宗麟によって、南蛮文化が花開いた大分の歴史を学ぶことにより、郷土を愛し、郷土を誇れる心を養います。

大友氏遺跡体験学習館では、大友氏の歴史や南蛮文化が学べる歴史教室を毎月開催しています。講座以外にも、大友氏の山城への登山や、南蛮かぼちゃの栽培、子どもを対象に「お守り犬」や「羽子板」など遺跡から発見された品々の製作などの体験学習も行っています。また、大人向けの焼き物やステンンドグラス製作もあり、子どもから大人まで楽しく歴史を学ぶことが出来るようになっていきます。

大友氏遺跡では、春・秋にかけて継続的に発掘調査を行っています。調査期間中に遺跡の見学会や発掘体験を行なうなど、戦国時代の遺跡を通じて大友宗麟が築いた都市や南蛮貿易で運ばれた品々などの歴史遺産に直接触れることができます。

また、大分の歴史遺産である大友氏遺跡の魅力を、子どもたちに学んでもらうため、今年、大分市内の小中学校に、大友氏遺跡や宗麟を紹介する映像と解説書を学校の授業で利用できるように配布しました。来年には、市内の小中学校六年生に新しい歴史の扉を開いた大友宗麟の偉業や魅力をまとめた「副読本」を社会科の授業で活用できるように準備しています。



▲豊後大友宗麟鉄砲隊（鉄砲隊演武）  
大友宗麟や大友氏遺跡関連の事業について応援する、市民を中心としたボランティア活動が芽生えています。これまでおおいた応援隊大友歴史保存会、遊学会、豊後大友宗麟鉄砲隊の方々や地域の子どもたちによる活動が行なわれています。

**大友氏遺跡体験学習館**  
OTOMO HISTORY BOX

今からおよそ 450 年前の戦国時代の歴史を学ぶ施設として平成 20 年に開館したガイダンス施設です。郷土の歴史を知る喜び・モノづくりの楽しさなどを感じられる様々なイベントや体験工房、歴史教室などを行っています。





所在地 大分市大字大分4257番地の1（通称元町）  
開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）  
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館）  
ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館（祝日の場合は開館）  
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）  
年末年始（12月28日～1月4日）  
入館料 無料  
交通機関 JR大分駅より徒歩30分  
大分バス 滝尾循環、敷戸団地行き、寒田、ふじが丘行き  
徒歩3分 東元町下車



### ▲体験工房

体験学習館で子どもを対象にした羽子板やお守り犬製作体験を行ない、人気メニューとなっています。



### ▲DVD解説書

体験学習館で放映中のDVD「よみがえる宗麟の栄華」の解説書を製作し、普及啓発に役立てています。



### ▲戦国大名 大友宗麟（義鎮）

1530年に豊後国府内（現大分市）で生まれる。1550年、21歳で家督を継いで21代当主となり、北部九州6国の守護職を務めた。1551年にフランシスコ・ザビエルを府内に招き、キリスト教の布教を保護するとともに、府内を南蛮貿易の拠点として海外との交易を盛んに行ないました。西洋の文化を取り入れた府内には、教会、学校、病院や育児院が建てられ、西洋美術様式の地、ボランティア発祥の地となりました。



### ▲大友氏館 庭園跡

庭園跡は、東西66m、南北16m以上の規模の池をもち、安山岩や凝灰岩の巨石が配置され、周囲に玉砂利が敷かれていたことが調査で明らかとなりました。

### ▲整備イメージ図

これまでの発掘の成果などから、主殿・庭園・正門などの立体復元のイメージ図を示したものです。



### ▲大分駅南上空から「大友氏館跡」と「旧万寿寺跡」を望む

遺跡の重要性が評価され、平成13年に大友氏の屋敷「大友氏館跡」が、国の史跡に指定されました。平成17年には、大友氏の菩提寺の一つである万寿寺「旧万寿寺跡」の遺跡が確認され、両者の遺跡をあわせて「大友氏遺跡」と名付けられました。

## イベント情報

## Information

大宗  
友麟

## 大友氏遺跡フェスタ 2012

このイベントは、大友氏遺跡の国史跡指定を記念して始まり、今年で12回目を迎えます。今回は、大学・市民ボランティア団体・行政による共同開催となり、大友氏遺跡の現地説明会をはじめ、「大航海時代と豊後府内」をテーマにシンポジウムなどを行います。秋の一日、南蛮貿易で栄えた当時の豊後府内（現大分市）に思いを馳せながら戦国時代へのタイムトリップを存分にお楽しみください。

## 【1日目】

大友氏遺跡・中世大友府内町跡  
発掘調査現地説明会

日 時：平成24年10月6日（土）  
10時00分～12時00分  
場 所：大分市元町 大友氏遺跡体験学習館

## 【2日目】

シンポジウム  
「大航海時代と豊後府内」

日 時：平成24年10月7日（日）  
13時00分～16時30分  
場 所：大分銀行赤レンガ館2F 大ホール



※大分生活文化展の行われている城址公園では、おおいた応援隊「大友歴史保存会」による大友氏遺跡PR活動を行っています。

主催：大分市教育委員会・別府大学文化財研究所・おおいた応援隊「大友歴史保存会」

大宗  
友麟

大分市誕生100年市民企画実施事業

戦国クリスマス 宗麟公まつり

## フェスティビタス・ナタリス in Bungo

約450年前にキリスト教が日本に伝わり、宣教師・フランシスコ・ザビエルと戦国大名・大友宗麟が大分の地（府内）で対面し、以後、大分で南蛮文化が栄えるきっかけとなりました。

キリスト教の布教に伴い、ここ府内の地でキリスト誕生を祝うクリスマスなどが行われるようになったようです。

長い年月を越えて、今再び戦国時代のクリスマスを現代風にとりおこない、歴史上、重要な出来事だったザビエルと宗麟の対面式を再現します。

日 時：平成24年12月8日（土）  
10時00分～20時00分  
場 所：メイン会場（大分市元町 大友氏遺跡体験学習館多目的広場）  
サブ会場（大分市府内町・竹町など）15時～17時（南蛮行列・武者行列）  
内 容：ザビエルと宗麟対面式・ステージイベント・鉄砲隊演武・戦国花火など



実施団体：おおいた応援隊「大友歴史保存会」

イベントの問合せ先：大分市教育委員会 文化財課 TEL097-537-5639